

～ 県民のみなさまへ ～

○新型コロナウイルス感染症は、214カ国で約143万人以上の感染者が発生しており、日本においても45都道府県で5,534人の感染者(クルーズ船を除く)の報告が続いています。(令和2年4月9日現在)

○新型コロナウイルスは、インフルエンザと同様の感染予防対策を徹底することで感染を予防できます。

○国内での感染拡大防止のため、受診の際には以下の点に御協力ください。

①発熱や風邪症状がある時の受診の仕方



○発熱したときは、体温計で熱を測りましょう。

○まずは、かかりつけ医※に電話して風邪の症状等を伝えてください。

○できる限り、マスクを着用して、受診してください。

○風邪症状が見られるときは、無理をせず学校や会社を休み、外出を控えましょう。

※かかりつけ医がない場合は、風邪症状やインフルエンザの際に受診する医療機関へご相談ください

* 大分県ホームページ(新型コロナウイルスに関するお知らせ)
<https://www.pref.oita.jp/site/bosaianzen/shingatacorona.html>

* おおいた医療情報ほっとネット(休日・夜間当番医の確認)
https://iryjo-joho.pref.oita.jp/srh_toban.html

②治療しているにも関わらず、下記に当てはまる方は、最寄りの保健所にご相談ください。

新型コロナウイルス感染の疑いがあれば、診療体制の整った医療機関「帰国者・接触者外来」への受診をご案内します。

○風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている

○強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※流行地に渡航歴がある場合や渡航歴のある人との濃厚接触があり、発熱と呼吸器症状がある場合も最寄りの保健所にご相談ください

○感染予防対策

- ・「こまめな手洗い」が有効です。
- ・手指消毒薬を活用しましょう。
- ・咳や鼻水、喉の痛みなどの呼吸器症状がある場合は、マスクを着用しましょう。マスクがないときは、手でおおうのではなく、肘の内側で咳やくしゃみを「ブロック」しましょう。
- ・持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ人混みを避けるなど、より一層注意してください。